

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	22-028	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
The potential effects of HECTD4 variants on fasting glucose and triglyceride levels in relation to prevalence of type 2 diabetes based on alcohol intake 飲酒をベースとする 2 型糖尿病に関連する、HECTD4 多型の空腹時血糖および中性脂肪への影響		
執筆者		
Lee YJ, Lee H, Jang HB, Yoo MG, Im S, Koo SK, Lee HJ.		
掲載誌		
Arch Toxicol. 2022 Sep;96(9):2487-2499. doi: 10.1007/s00204-022-03325-y.		
キーワード	PMID	
HECTD4、SNPs、2 型糖尿病、飲酒	35713687	
要 旨		
<b>目的：</b> 東アジア諸国において多量飲酒は公衆衛生上重要な課題である。本研究では、飲酒暴露における 2 型糖尿病と HECTD4 遺伝子多型の関連を検討した。		
<b>方法：</b> 韓国のコホート研究（KoGES-HEXA 5 万人と Ansan,Ansung 研究 8000 人）においてゲノムワイド関連研究を行った。		
<b>結果：</b> HECTD4 遺伝子における 4 つの SNP が飲酒量と関連していた。これらの SNP で変異型アレルを持つ人は野生型アレルの人より空腹時血糖、中性脂肪、GGT が低かった。多変量ロジスティック回帰では、飲酒者において HECTD4 遺伝子多型が 2 型糖尿病リスク上昇と有意に関連した。実験では、エタノールは細胞における HECTD4 発現を増加させた。		
<b>結論：</b> 韓国でのゲノムワイド関連研究において、飲酒者における糖尿病リスクは HECTD4 遺伝子多型と関連した。		